

番号	書類名	ページ	項番	項目	質問	回答
1	受託者選定実施要領	2	2 業務内容に関する事項	2.7 提案の上限額	「緊急時対応に関する費用を除く」とあるが、要求水準書「4.2.10 その他維持管理業務」に記載されている緊急時の応援対応のことか。この場合、シフト勤務者以外が応援対応した場合については別途請求が可能となるのか。	「緊急時対応に関する費用」とは、要求水準書別表3の業務内容の欄に「～対応に係る費用については対応が発生した後、双方協議の上決定する」と記載があるその他維持管理業務の「2-204 緊急対応」、「2-210地震発生に伴う対応」、「2-212停電発生に伴う対応」が対象です。
2	受託者選定実施要領	3	3 受託者の選定に関する事項	3.2.2 参加資格要件	「⑧、⑨ 総括責任者および副総括責任者は浄水施設に常駐させることができる者であること。」とされている。常駐が義務付けられるのは、平日の8時45分～17時15分と考えてよろしいか。	その通りです。
3	受託者選定実施要領	8	4 受託者の選定等	4.2 企画提案書類の審査	受託者選定審査委員会とあるが、当委員会の委員は公表になるのか。	委員の氏名については公表しません。
4	受託者選定実施要領	8	4 受託者の選定等	4.3 プレゼンテーション及びヒアリングの実施	企画提案書類提出者に対して求められるプレゼンテーション及びヒアリングについて、プレゼンテーション持ち時間とプロジェクター使用の可否、参加可能人数を教えてください。	プレゼンテーションは30分以内、ヒアリングは15分以内、参加可能人数は4名、プロジェクターの使用は可としておりますが、詳細については、参加資格確認通知時に実施要領を通知します。
5	受託者選定実施要領	10	表4.1 企画提案書の審査項目、内容及び配点	内容	「～業務の具体的な内容」や「～業務の理解度」については、あくまでも本件施設における具体的内容や理解度を審査するものと考えてよいか。	本件施設における各業務内容の具体的な企画提案とその理解度について審査いたしますが、他事業体における施設の実績や経験から、より多角的な視点に立った企画提案をしてください。
6	受託者選定実施要領	10	表4.1 企画提案書の審査項目、内容及び配点	参考価格と積算根拠	価格審査に「積算根拠の適正性と価格」と記載されているが、以下について教えてください。 ・配点は20点の価格の評点化方法 ・積算根拠の適正性とは、具体的には何をどのように評価されるのか	評点化方法については公表いたしません。 企画提案内容が積算内容に反映され、適正な価格として算出されているかを確認します。
7	受託者選定実施要領	11	5 受託者の選定等企画提案書類の作成	5.1 作成にあたっての留意事項	「⑤ Microsoft Word又はExcel形式により作成することを基本とする。」とされておりますが、Power Point形式で作成し、PDF形式データで提出してもよいか。	様式10、10-1～10-7に準じていれば、WordまたはExcelでなくても構いません。
8	様式集	4	様式4 参加表明書	3 提出書類	④納税証明書（直近のもの）について、実施要領（3.2.2⑤）において消費税及び地方消費税、法人税、市区町村民税について、滞納が無いことを証明する書類とあるが、法人税とは本社所在地の東京都に納税している法人事業税のことを指しているのか。また、代表者の市区町村民税とあるが、受任者である北海道支店長個人の納税証明書を指しているのか、教えてください。	法人税（国税）、法人事業税（地方税）、法人住民税（地方税）、消費税及び地方消費税の未納がないことを証明できる証明書を添付してください。（代表者個人の納税に係る書類は必要ありません。）
9	様式集	4	様式4 参加表明書	3 提出書類	⑤暴力団等との関与がないことに関する誓約書について、受任者である北海道支店長の誓約でよいか。	その通りです。 参加表明書と同じ代表者が誓約書を作成し、提出してください。
10	様式集	4	様式4 参加表明書	3 提出書類	①登記簿謄本は「現在事項全部証明書」でよいのか？	現在事項全部証明書もしくは履歴事項全部証明書を提出してください。
11	様式集	4	様式4 参加表明書	3 提出書類	②定款は原本を提出すべきなのか？	定款の写しを提出してください。写しの余白に原本と相違ないことを証明する旨を、記載し、法人及び代表者の署名、押印してください。
12	様式集	4	様式4 参加表明書	3 提出書類	⑥会社概要はパンフレットでもよいか？	会社の概要が分かるものであればパンフレットでも構いません。
13	様式集	13	様式10-2 総括責任者、副総括責任者、業務従事者の資格・経験	2 担当予定の総括責任者、副総括責任者、業務従事者の資格・経験	本様式に記載した予定者は、業務開始後に変更可能という理解でよいか。	業務開始後の予定従事者の変更は可能です。 要求水準書9ページ「4.1.3維持管理体制」に記載のある通り、変更する場合は、変更前の業務従事者と同等のレベルで業務を遂行できるように教育等を行ったうえで配置してください。
14	様式集	14	様式10-3 受託実績		「同種・類似業務の受託実績」について、「実処理水量を記載し」とあるが、平均処理水量10,000m <sup>3</sup> /日以上等の制約は無いと理解してよろしいか。	様式10-3に記載する内容としては処理水量についての制約はありません。 ただし、参加資格には平均処理水量10,000m <sup>3</sup> /日以上の実績が必要です。

番号	書類名	ページ	項番	項目	質問	回答
15	様式集	15	様式10-3 受託実績	(2) 実績に関する質問	Q1のイに「粒状活性炭ろ過地がある・・・の維持管理において・・・再生・更新の対応経験」とありますが、維持管理業務とは別の工事や業務受託実績はこの対象外となるのか。又、当別浄水場では再生・更新の実績はあるか。	当該質問は、浄水場の運転管理をしている立場での対応実績があるかを問うものです。
16	様式集	15	様式10-3 受託実績	(2) 実績に関する質問	Q1の質問について、粒状活性炭ろ過池のある浄水場及びダム直接取水の浄水場（選択取水できる、できない両方含め）の受託実績が全く無い場合、配点がどの程度となるか教えてほしい。	受託実績に関する項目別の配点内訳については、公表しません。
17	様式集	15	様式10-3 受託実績	(2) 実績に関する質問	Q1の質問について、現状、取水口選択（取水ゲート開閉・切替操作）は企業団の指示の元で受託者が行っていると理解してよろしいか。取水口変更の実績頻度はどの程度か。4カ所の取水水位での原水水質データ（濁度、臭気成分等）を示してほしい。	取水口選択は受託者が提案した運用方針を企業団が承諾し、その方針に基づいて運用しております。年間20回程度取水ゲートを試験的に切替えて調査し、その都度最も水質が良好なゲートに切替えています。取水水位での原水水質データは企業団HP上にある「過去の水質検査結果 ダム湖・取水施設付近（上・中・下層）」を参照願います。
18	様式集	18	様式10-4-2 業務実施計画(2期事業関連業務)		「浄水池については、・・・平成33年度内に増設、運用することとしている」、2期工事終了後・・・送水量は最大2,875m <sup>3</sup> /日（=69,000m <sup>3</sup> /日）・・・とあり、別紙3-1では2期工事終了時の計画用水供給量が69,000m <sup>3</sup> /日（平成37年度）とあるので、2期業務の内、平成33年度までは増設浄水池のみ完成と理解してよろしいか。又、増設浄水池の供用開始予定日を示してほしい。	増設浄水池は平成33年度中に完成、試験通水を行い、平成34年度から供用を開始する予定です。
19	様式集	18	様式10-4-2 業務実施計画(2期事業関連業務)		「浄水池については、・・・通水試験等に必要な水量を日最大取水量の範囲内で確保するため・・・」、と記載があるが、ここで言う“日最大取水量”とは、現状の34,307m <sup>3</sup> /日でよろしいか。又、既設管水量の段階的な増量、洗管、通水試験とあるが、2期業務全体の情報が不明のため、2期業務全体の工事工程等（実施設計、土木工事（水張り）、配管工事、プラント機械（水張り）、プラント電気工事、単体調整、総合試運転、接続・切替、供用開始等）を示してほしい。	日最大取水量は、平成33年度の時点では現状の34,307m <sup>3</sup> /日です。「既設管水量の段階的増量、洗管、通水試験」は、「浄水池増設」に伴う作業であることから、この作業に関して、2期事業全体の工事工程等の情報は必要なく、現段階で詳細について示すことはできませんが、2期事業関連業務において想定される対応内容は、要求水準書の別紙5を参照してください。
20	様式集	18	様式10-4-2 業務実施計画(2期事業関連業務)	(1)	排水元としての、既設急速ろ過池及び粒状活性炭ろ過池の逆洗浄周期を教えてください。	現在の運用では、急速ろ過池、活性炭ろ過池共にろ過持続時間は120時間です。様式10-4-2の(1)、(2)ともに、急速ろ過池・活性炭ろ過池の洗浄とは関係ありません。
21	様式集	18	様式10-4-2 業務実施計画(2期事業関連業務)	(1)	No.1~No.8の各排水施設の最大排水量が記載されていますが、これは天日乾燥に排出される濃縮汚泥排水量のことか。排水系統や系列が不明のため、排水処理施設のフロー図を示してほしい。	No.1~No.8排水施設とは送水管の途中にある排水施設であり、管内水を排水するための施設です。（要求水準書別紙2参照） 【様式10-4-2】に記載している最大排水量とは各排水施設での排水可能な量です。
22	要求水準書	2	1 総論	1.5 業務の履行 1.5.2 業務管理	「受託者は、2期工事に向けての設計段階から設計業者との調整や、工事開始後の施工業者との調整及び施工時における浄水処理や施設の維持管理等への現場対応についても責任をもって対応しなければならない。」とあるが、2期工事に対する企業団と受託者の業務分担を教えてください。	受託者は、維持管理等業務にあたり2期事業に関連する業務において当企業団の補助を行います。想定される対応内容は、要求水準書の別紙5を参照してください。
23	要求水準書	3	1 総論	1.5 業務の履行 1.5.5 リスクとその責任分担	別紙1のリスクの種類「法令上の責任」において「受託者の業務履行上で直接関係するもの」の負担区分が受託者となっているが、対象の法令は労働関係法等のことで、水道法については含まれないという解釈でよろしいか。	本業務は第三者委託ではありませんので水道法第24条の3については適応されません。
24	要求水準書	6	3 委託する業務	3.4 施設維持管理業務	別表3に設備点検実施に伴うろ過池の手動洗浄について、職員研修による実施も含むとあるが、職員とは要求水準書4.2.10の「構成団体からの依頼研修(新任者研修)」への参加者を差すのか。その、職員研修による実施時に参加職員が実施した作業にて、事故等が発生した場合の委託者と受託者の責任分掌について、教えてください。	要求水準書の別紙3で示す研修とは、受託者の新規異動者等の業務実施に必要な研修のことです。
25	要求水準書	7	4 業務の要求水準	4.1 維持管理業務の基本事項 4.1.1 水質及び水量	受水団体からの需要量に応じて、・・・とあるが、受水団体からの需要量や要求水質に関する調整は受水団体及び受託者で調整するとの理解でよいか。	受水量については、受水団体及び受水団体の受託者から受託者に毎日連絡があります。要求水質は、企業団と受水団体との協議により決定しその結果を受託者にお知らせしております。

番号	書類名	ページ	項番	項目	質問	回答
26	要求水準書	8	4 業務の要求水準	4.1 維持管理業務の基本事項 4.1.1 水質及び水量	イ 水質管理の水準に、「要求水準は、別表1及び別表2に示すとおり・・・」とあり、「別表1浄水場の水質管理に関する要求水準」のうち、急ろ水の溶存マンガンの管理値及び目標値が0.01mg/L以下とあるが、「表2.1受託者が使用できる備品（貸与品）等」を参照すると、番号18に分光光度計とある。この分析方法は、過ヨウ素酸銀カリウムによる吸光光度法となり、溶存マンガンの測定は0.03mg/Lまでとなる。この条件だと、要求水準達成の確認ができないが、現在、どのように管理されているか教えてほしい。	水質試験室における測定は、運転管理業務の一環として水質状況を確認しているものです。溶存マンガンについては、小数点3桁まで計測しているが、これまでの水質検査計画に基づく検査では、0.001mg/L未満となっています。
27	要求水準書	9	4 業務の要求水準	4.1 維持管理業務の基本事項 4.1.3 維持管理体制	総括責任者及び副総括責任者については両者共に、本業務の対象施設に常駐させることとなっていますが、要求水準書にある「休日」以外での欠勤及び外勤について可能となる条件はないのか。	総括責任者及び副総括責任者共に休日以外の8:45から17:15まで常駐することが原則ですが、合理的な理由がある場合は、どちらかが管理本館に在籍することで認められると判断します。なお、合理的な理由とは、労働関連法に基づく休暇等の取得、総括責任者等の出席を要する社内会議や外勤を要する現場指揮等が考えられる。ただし、常態的に外勤を行うような業務の兼務は認めません。
28	要求水準書	9	4 業務の要求水準	4.1 維持管理業務の基本事項 4.1.4 危機管理対応	「・・・他水道事業者で発生した情報を含めて・・・」とあるが、一般に水道新聞などの事例を基に提案しても良いとの理解でよいか。	新聞に掲載された事例でも、実際に実施した経験のあるものでも構いません。
29	要求水準書	10	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.1 業務準備期間における業務	イ 業務準備期間における業務に、「・・・業務のサポート契約・・・」とあるが、どのようなものが対象となるか教えてほしい。	平成31年3月31日までの業務準備期間に、受託予定者自身が業務の習熟が万全でないと判断した場合に、現受託者と締結するサポート契約を想定しています。ただし、現受託者との契約に限らず、各設備の点検などのためにメーカーなどの技術力を有する業者とのサポート契約についても含まれます。なお、契約の手続きは受託予定者が実施することになります。
30	要求水準書	10	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.2 運転監視業務	イ留意事項では、運転監視業務は原則2名以上を管理室内に配置することとなっているが、総括責任者または副総括責任者を管理所内に配置することで、運転監視業務を兼務することは可能か。	兼務することは可能です。兼務する場合、運転管理業務全体の総括をしながら監視制御設備の操作をすることになります。なお、総括責任者または副総括責任者は専任・常駐が必要で、本業務全体を総括することを目的に配置するものです。
31	要求水準書	12	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.4 保守点検業務	イ留意事項に、「全部で128箇所ある弁室は、1年に40～50箇所の割合で点検を行い、本業務期間内で、全箇所実施すること」とあるが、すべての弁室の場所を教えてほしい。	全ての弁室の詳細な位置をお示しすることはできませんが、概要は次のとおりです。 当別町内 車道51か所、歩道等21か所 札幌市内 車道14か所、歩道等6か所 石狩市内 車道23か所、歩道等12か所 小樽市内 歩道1か所
32	要求水準書	12	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.4 保守点検業務	イ留意事項に、弁室点検の際には、交通誘導員の配置も受託者とあるが、道路使用許可は企業団で行うと考えてよいか。	道路使用許可も含め、受託者が行ってください。
33	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.7 物品等調達・管理業務	ア業務内容の「水質検査備消耗品及び水質自動計器交換部品」については別表6-1～6-3に含まれていると思われるが、別表記載分以外は企業団による調達ということか。そうでないのであれば、受託者が購入する備消耗品等の判別方法を教えてほしい。	基本的には、受託者は別表6-1～6-3に記載のある備消耗品等以外は調達せず、それ以外の物品については企業団が調達し、支給します。ただし、別表6-1～6-3に記載がある通り、購入数量については在庫状況により変動する可能性がありますので、企業団と受託者が協議したうえで、購入する物品や数量の変更があります。
34	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.7 物品等調達・管理業務	イ留意事項の「燃料、電力、浄水用薬品等のユーティリティ」の「等」とは具体的に何が含まれるのか。	要求水準書において受託者に購入を求めているものが「等」に該当します。
35	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「企業団が行うピコプランクトン調査の調査補助」とは具体的にはどのような業務を行うのか。	取水ゲート切替調査にて採水したサンプル水をピコプランクトン調査業務の受託者まで運搬する業務です。
36	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「企業団が行う総トリハロメタン一斉調査の調査補助」とは具体的にはどのような業務を行うのか。	企業団が発注する総トリハロメタン調査業務のための採水です。運搬は企業団で行います。

番号	書類名	ページ	項番	項目	質問	回答
37	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「企業団が行う活性炭性状調査の調査補助」とは具体的にはどのような業務を行うのか。	当企業団が発注する調査業務にあたり採炭作業の補助や、ろ過池の運用調整などです。
38	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「取水ゲート切替調査」とは具体的にはどのような調査か。	取水ゲートを切り替えて実際に採水し、水質が良好なゲートからの取水に切り替えるための継続的調査です。
39	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「急速ろ過池砂層調査」とは具体的にはどのような調査か。	砂層厚、逆洗膨張率、粒度分布を調査し、砂層の劣化状況などを確認する調査です。
40	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「浄水場処理能力調査」とは具体的にはどのような調査か。	一定時間、設計処理能力で浄水処理を続け、浄水処理能力が適切に保たれているかを確認する調査です。実施方法については毎年協議して決定します。
41	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	ア業務内容にある「PAC注入率の検討調査」とは具体的にはどのような調査か。	通年PAC注入率と処理状況を観察し続け、適切な注入率を算出できるPAC注入率計算式を決定するための継続的調査です。
42	要求水準書	14	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.8 調査業務	企業団が行う各種調査の調査補助とは、採水や活性炭検体採取等の作業であり、受託者側での活性炭吸着試験、性状分析や水質分析等は一切含まれないと理解してよろしいか。	質問番号35～37のとおりです。
43	要求水準書	15	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.9 2期事業関連業務	ア 業務の内容に、試験通水等に伴う水量調整・水質管理、維持管理 とあるが、ここにある水質管理とはオンライン計装機器での監視と報告であり、浄水池への通水試験や湛水試験時の充水や排水等の水質分析は含まれないという理解でよろしいか。	自動計器の指示値の動向確認に加え、現地での採水や簡易的な水質分析も含まれます。
44	要求水準書	15	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.10 その他維持管理業務	別表3では、見学及び視察の対応 について、年間実施回数は年間28回想定とあるが、主な見学者と見学実施時間をお教えてほしい。	見学者は、構成団体の小学校の社会科見学や専門学校生による見学、地域のサークルが見学に来られます。また、議員による視察や各事業者による視察があり、見学時間は平日日中の2時間程度です。
45	要求水準書	15	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.10 その他維持管理業務	ア業務の内容で、企業団は必要に応じて補助するものとする。とありますが、見学に際し必要となるパンフレット等の説明資料は、必要部数を企業団で準備するのか。	その通りです。
46	要求水準書	15	4 業務の要求水準	4.2 各業務の内容と水準 4.2.10 その他維持管理業務	イ留意事項に「簡易的な修繕は材料支給を企業団が行い、受託者は修繕作業を行う。」とあるが、別紙4の「受託者が負担する備品及び消耗品」に記載されている「汎用の補修材料」との違いを判別方法を教えてほしい。	別紙4の「汎用の補修材料」とは、様々な補修などに用いることができるものをいいます。「簡易的な修繕」とは、汎用工具で施工可能な故障部品の交換や修理のことです。詳細な点については、協議の上決定します。
47	要求水準書別表	別表2	各分水施設の水質管理に関する要求水準	残留塩素（流出）管理値	目標値±0.05mg/Lとなっているが、過去に自動制御以外で人為操作が必要であった状況、実績があったら教えてほしい。	各分水施設における追加塩素の注入開始操作は手動で行います。平成27年度に追加塩素を実施した実績があります。

番号	書類名	ページ	項番	項目	質問	回答
48	要求水準書別紙	別紙5	2期事業関連業務の対応内容(想定)	【本業務の委託期間つに 対応する内容】	別紙5には「設計のための対応」、様式10-4-2には「・・・設計及び工事への対応を含め業務実施計画に盛り込むこと。」とあり、平成33年度内に浄水池が増設、運用するには、次年度にも設計業務に着手すると想定されるが、設計のための対応提案のために、原設計（1期業務）の発注図書（水位高低、発注図面、特記仕様書）を公開してほしい。	2期事業に関連する詳細内容については、現段階ではお示しすることはできません。要求水準書の別紙3-1や別紙5から考えられる企画提案を行ってください。
49	除雪業務仕様書		3		委託期間内の除雪予定回数は38回とあるが、年38回ではなく契約期間の合計で38回ということか。	年間38回を予定しています。時期は11月上旬から3月下旬までです。
50	現地説明会		施設見学	天日乾燥床	天日乾燥床の発生土の搬出は、本業務期間内においても、企業団にて対応するという理解でよろしいか。	浄水汚泥の売却や搬出は企業団にて対応します。